

## 経営者の皆さまへ

# 企業の持続的発展のため



# SDGs経営に取組みましょう

新型コロナウイルスに打ち勝つ、そして誰ひとり取り残さない未来づくりへ



E	次			
	持続可能で新型コロナ			SDGs経営に取り
	打ち勝つSDGs経営 ・・	•••••	1	SDGs経営の取り

 SDGsが求めていること・・・・・・・・
 2

 SDGsに取り組むポイント・・・・・・・・・
 3

SDGs経営に取り組むヒント
SDGs経営の取り組み方······ 5
始まっている! SDGs経営 ····· 6-7
別紙 SDGs経営の取組プロセスと支援メニュー

## 持続可能で新型コロナウイルスにも打ち勝つ SDGs経営



## SDGsが企業評価につながる時代が迫ってきています! なべてとが大事なのではなく

これから社会・経済活動の中心となっていく世代(ミレニアル世代※)は、 SDGsに高い価値観をもつ「SDGsネイティブ」といわれています。

利益重視、 効率性重視ばかり では立ち行かない 時代という ことですね…





うまく経営に 取り込むことで、 チャンスに 変えられるよ!



※「ミレニアル世代」:2000年代の初頭に成年期を迎えた世代(ミレニアル=千年紀)の意。初めてのデジタルネイティブ世代であり 金融危機や格差拡大などの厳しい社会情勢の中で育ったことから、過去の世代とは異なる価値観や経済感覚などを持つ。

### SDGs経営に取り組み、チャンスをひろげましょう!

SDGs経営

SDGsを経営と結びつけることで、 事業を通じて社会・経済・環境の 課題解決に取り組み、

企業価値の向上につなげていく経営

経営理念

経営方針

事業計画

事業活動



「選ばれる企業」

企業がビジネスを通じてSDGsに取り組む ことは、企業の存続基盤を強固にするととも に、いまだ開拓されていない巨大な市場を獲 得するための大きな「機会」となり得ます。

人財・ パートナーの 確保

事業機会の 創出•拡大

逆に、世界全体がSDGsの達成を目指す中、これを無視して事業活動を行うことは、 企業の持続可能性を揺るがす「リスク」をもたらします。

消費者が商品を 評判が下がる… 買ってくれなくなる

規制が強化された際、 自社商品が規制に抵触し、 販売できなくなる…

取引先から 外される…



SDGsを経営に取り入れることで、新型コロナ禍においても 持続的に発展する強靭な経営基盤を築きましょう!

## SDGsが求めていること



です。

「できることから

ではなく 大胆に

変えるべきなのね

## 根本的なビジネスモデルの変革が必要!

SDGsは、「根本的なビジネスモデルの変革」を求めています。これまでと同じやり方、または少しずつ変えていくという姿勢ではなく、新しい時代をつくる「21世紀型のビジネスモデル」を必要としています。

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のタイトルは

## 我々の世界を変革する (Transforming Our World)

前文では、

「世界を持続的かつ強靱 (レジリエント) な道筋に 移行させるために

> 緊急に必要な、 変革的か手段をとること



現状の やり方では 世界は持続 できないんだな… に決意している」とうたっています。

### 世界および日本の企業やリーダーたちは、すでに動いています

SDGsが「21世紀の人間と地球の憲章」であるといわれる理由は、2030年の目標年を超え、 さらに長期的な視野の動きも始まっているからです。

「株主至上主義」原則から「ステークホルダー資本主義」の時代へ。

これらの大規模な投資は、よりレジリエントで、より防御的で、より効果的で、より包摂的な、新しい欧州経済モデルの引き金とならなければならない。これらのすべての要件は、グリーン原則に基づいて構築された経済にある。実際、気候中立経済への移行、生物多様性の保護、農業・食料システムの変革は、世界中のすべての市民に雇用、成長、生活様式の改善を急速にもたらし、よりレジリエントな社会の構築に貢献する可能性を秘めている。

欧州グリーン復興アライアンス (2020年4月14日)



2030年までにマイクロソフトはカーボンネガティブとなり、1975年の創業以来、直接的および電力消費により間接的に排出してきたC02の環境への影響を2050年までに完全に排除します。

マイクロソフト社 (2020年1月)

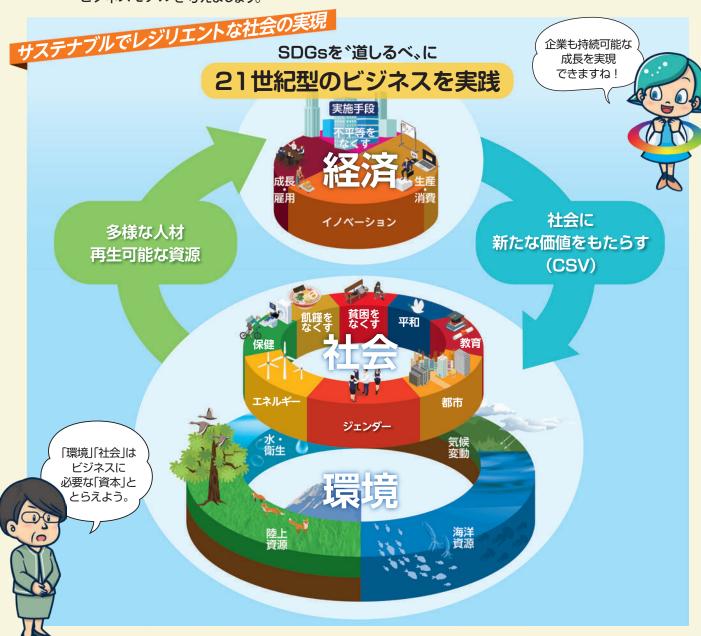
## SDGsに取り組むポイント。





## 持続可能な社会を実現するビジネスモデルを考える

自然環境や地域社会を自社の成長基盤となる大事な資本としてとらえ、自社と社会がともに成長する価値を創造(社会との共通価値創造=CSV: Creating Shared Value)できる21世紀型のビジネスモデルを考えましょう。





## 将来ビジョンを明確にする

持続可能な社会において、自社の未来のあるべき姿、 「存在意義」は何なのか、どのような活躍をしたいのか、理 想像を描きましょう。



## 将来ビジョンに向かう 道筋を考える

現在の自社の資本(資金力、知的財産・ノウハウ、 社員の力量・社内体制、設備等)だけでは理想に 到達できない場合、どのようなパートナーと連携し ていくべきかを検討しましょう。

## SDGs経営に取り組むヒントの



## 169のターゲットを参考に、課題を理解しましょう

SDGs経営に取り組むには、まず「環境」「社会」の課題を理解することが必要です。

SDGsの17の目標ごとに、全部で169の「ターゲット」が掲げられています。ターゲットは、目標を達成するための 具体的な内容が記されているので、課題の解決方法を考える手がかりになります。



## ターゲット1.5

2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある 人々の強靱性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に対する暴露や脆弱性を軽減する。



目標1「貧困をなくそう」だと 意識できなかったけど、 日本にも1回の台風で 生活基盤が崩壊してしまう 脆弱な状況に置かれた人が たくさんいるわね。 当社がある地域はどうかしら?



### ターゲット11.7

2030年までに、女性、子供、高齢者及び障がい者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

#### 目標11

「住み続けられるまちづくりを」だと 大きな話だと思っていたけど、 そういえば、 会社で借りていた市民農園が、

> 農家の相続でなくなるのも 地域の課題なのね。

当社の土地や建物を地域のために 活用できることはないかしら?





## ターゲット14.1

2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。



課題を理解すると 実感を持って やるべきことを 考えられるわ。



目標14「海の豊かさを守ろう」は 海のないこの地域には関係ないように 考えていたけど、川や下水を通じて、 海にゴミや化学物質が 流れ込んでいるな。 自然界で分解しないようなゴミや 化学物質を出さないように当社でも もっとしっかり管理する取組を すすめよう。

## SDGs経営の取り組み方



## 「将来ビジョンの提示」「体制整備」の両輪を回し取り組みましょう

### 将来ビジョンの提示

### SDGsを道しるべとした 「自社の将来ビジョン」を示す

#### 1 自社のあるべき将来像を描く

- =経済・社会・環境の三側面で価値向上に 貢献するビジネスモデルを考える
  - <u>「三方良し」のビジネスモデ</u>ル (下図参照)
  - ■「アウトサイド・イン」(※1)の考え方

#### 経済

社会課題解決ビジネス 地域資源活用 生産性向上

#### 社会

環境

働き方改革 女性・高齢者活躍 地域貢献 省エネルギー 再生可能エネルギー 循環 自然環境保護

#### 2 自社の将来像を実現するための 道筋を考える

- ■「バックキャスティング」(\*2)の考え方
- 3 将来像を実現するにあたってのハードル (自社に無い知見・ノウハウ)を 社外のネットワークで探索する
  - ■パートナーシップの構築

#### 今ゃるべき! 体制整備

### 社会に評価されるために 最低限必要なリスクマネジメント

#### 組織内での人権配慮

(ダイバーシティ&インクルージョン)

- ■性別、年齢、人種、出身などによる差別の撲滅
- ■ハラスメント等、労務トラブルの撲滅
- ■長時間労働の是正
- ■働き方の多様化(時短勤務等)
- ■多様な人材の活躍(女性、高齢者、外国人、 障がい者、介護・育児・治療などさまざまな 事情がある方)
- ■情報管理(人事·顧客情報等)

#### 環境への配慮

- ■自社製品、サービス
- ■エネルギー、廃棄物
- ■調達先、販売先



#### 組織体制の整備

- ■法令順守(不正·汚職防止)
- ■事業継続(自然災害等有事の対応)

## プレゼンス向上(社会・消費者からの支持)

SDGs経営を 実践すれば 大きな成果が 得られるんですね。

過度な価格競争からの脱却(新規顧客の獲得

- (※1) 世界的な視点から、これからの社会に何が必要とされるのかを検討し、 それに基づいて自社の「将来のあるべき姿」を設定すること
- (※2) 最初に自社の「将来のあるべき姿」を設定したうえで、 そこから遡って来年や再来年に取り組むべき目標を設定する手法

## 始まっている! SDGs経営



### 中小企業でのSDGs経営は始まっています!

#### 株式会社 茨城製作所 `

# 革新的独自商品を開発し途上国の社会課題を解決

会社 概要 電機機器の製造

年商:10億円 社員数:100人

ネルギーアクセスのない生活をしている人が多数いるインドでの経験から、自社の持つ技術を活用し、社会の課題を解決するビジネスを推進。大人2人で持ち運んで水の流れに沈めるだけで発電ができる小型水力発電機を開発した。



他国の社会課題を 知る経験が 飛躍の一歩に なっていますね。

#### 取組の成果

#### 受注の増加

下請け一本から脱却し、新規開発品の受注が増加人材採用

メディアへの露出増で、就職を希望する人が増加

長年培ってきた 自社技術をもとに 新しい試みを 始めたのか。



自然エネルギーを生かした 軽水力発電機を開発・製造 しています。



ネパールの電力不足・無電化 地帯で学校と公民館に電気 の明かりを提供しています。



ネパールの小学校で軽水力発電機により 浄水器を動かし、飲み水を提供しています。



インドとネパールではセンサーを搭載した 軽水力発電機を活用して水害予測に挑戦 しています。

#### 株式会社 SAMURAI TRADING

捨てていたものが 資源になり 企業イメージも アップしています。



※ 務用デザートを製造する際に毎日大量に廃棄される卵殻に着目し、資源としての有効利用を実現した。バイオ由来未利用資源として環境負荷がないことから、プラスチック代替・パルプ代替として利活用することでCO<sup>2</sup>削減にも貢献できる。

廃棄物だった卵殻を有効利用 環境負荷とコストの削減を実現



食品製造、環境関連事業 社員数:5人



受注の増加

SDGsに取り組む企業からの採用が大幅に増加

パートナーシップ拡大

数々のメディア露出や受賞でネットワークが拡大





卵殻の工業原料としての 有効利用を世界ではじめて 実現しました。



エコ玉プロジェクト(SDGs普及活動)を立ち上げ、40社以上と協働しています。

一つの行動が 企業活動全体、 そして社会にも 好循環を促して いくんですね。



卵殻の廃棄にかかっていた 処理コストで植林活動を推 進しています。



食品業界と素材業界の双方の環境負荷 低減に貢献しています。



#### 有限会社 ワールドファーム

## <sup>™</sup>儲かる農業<sub>巛</sub>を構築 業界の常識超え次世代育成



農業生産と食品加工

年商:16.7億円 社員数:105人

21 世紀は環境、福祉、農業の時代になる。次世代の日本の農業の担い手を育成するためには儲かる農業を実現すべき、と20年前に新規参入。試行錯誤を繰り返しながら6次産業化と常識にとらわれないあらゆる工夫を通じて農業による高利益率ビジネスモデル構築を実現した。



常識ではない 考えから 新しい事業が 始まることも。



取組の成果

地域の拡大

全国10県、14か所に事業が拡大、今後も増加

人材採用

次世代農業の担い手として若年層の雇用に取り組んだ結果、全員正社員雇用で、 77.5%が40歳未満

未来を見据え 新たな風を 吹き込んだのですね。



全国どこでも展開可能な儲かる農業のビジネスモデルを確立しています。



好労働条件による生産性向上と社 員に対して明確なキャリアパスを 提示しています。



消費者の健康志向に応えたい食品メーカーに国産野菜を大量に長期安定供給 しています。



地域農業の衰退を懸念する自治体 と協定を結び、ビジネスモデルを導 入しています。

株式会社 長野車体

社会の 変化や要請に 柔軟に対応して いますね。



Magano\_ Yatai\_ 高齢化社会支える車両設備 自社技術で新規開発



車両周辺装置の製造、販売、メンテナンス

額のリフトアップ式福祉車両に代わるものとして、普通車両に取り付けられるリフトアップ式の車椅子乗降装置を開発した。キャリアカー(車両運搬車)の製造で培った技術を使い、比較的安価で安全な商品提供を可能にした。

#### 取組の成果

新規事業開拓

車椅子利用者の声をきっかけにニーズを発掘

補助金獲得

自治体のSDGs販路開拓モデル創出事業に選定



車椅子利用者・介護者が自由 に移動できる社会の実現に貢献します。



高齢者による交通事故低減に貢献 するSTOPペダルも開発しています。 いま本当に 必要とされている ことに敏感に ならなければ…



養護学校やフリースクール出身 者を採用し、活躍できるように 育成しています。



レンタカー事業者等と連携し、鉄道や飛行機 を降りた後も車椅子車両で観光できる仕組 みづくりを進めています。

三井住友海上の サポートメニュー

三井住友海上では、企業のSDGs経営の取組をご支援するための各種情報をご提供しています。





